

令和7年度第1回泉大津市男女共同参画審議会 議事要旨

1. 会議概要

- 日時:令和7年7月4日(金)午前10時~
- 場所:テクスピア大阪 301 会議室
- 審議会委員出席者:岡崎会長、岩田副会長、加藤委員、上中委員、中下委員、山田委員、西上委員、花見委員
全10名のうち、出席8名、欠席2名
- 事務局出席者:政狩市民生活部長
(人権くらしの相談課) 深澤課長、寺内課長補佐、田中係員
- 南出市長
- 傍聴者3名

2. 主な審議等の内容

(1) 市民意識調査の結果報告

- 説明方法の改善:資料のページ番号明記、データの根拠説明の必要性を指摘
- 今後の分析:詳細な分析結果の提示と、未来志向の分析を要望
- 若年層の回答率:50代~70代が全体の70%を占める偏りについて議論

(2) 計画骨子案(施策体系)

【用語の整理】

- 「男女共同参画」と「ジェンダー平等」の使い分けを明確化する必要性を指摘
- LGBTQ+を含む多様性の観点から、用語の定義と説明を計画書に明記することを要望

【事業所への働きかけ】

- ハラスメント対策について、厚労省のガイドライン等の情報提供を積極的に実施
- 事業所が学習できる指針を計画に盛り込むことを要望

【男性に対する支援】

- 施策体系における「男性に対する相談支援」の位置付けと対象範囲について議論
- DV 被害だけでなく、男性の働き方、育児参加など幅広い支援の必要性を指摘
- 「相談支援」だけでなく、アウトリーチの視点を含めた支援体制の充実を要望
- 男性の共同参画意識を高めるための施策を計画全体に反映することの重要性を確認

【ハラスメント対策】

- 第3次計画からの継続性を明確にし、市民に誤解を与えない表現を要望

(3)ヒアリング調査の実施

- 調査目的の明確化:アンケート追加調査とリーダー発掘の2つの目的が混在
- 対象の拡大:「若者会議」参加者だけでなく、30代の子育て世代など幅広い層の意見収集を要望
- 理想と現実のギャップ:若年層の意識と実際の生活における課題の把握が重要
- パパカフェなど父親の集いでのヒアリング実施を提案

3. 今後の予定

今年度は、あと3回の審議会を予定(日程は後日調整)

以上